

# 多様性で築く日本の未来

## 外国人との共生

メルボルン中心部に学校活動の一環で子どもは、オーストラリアが多もたちも訪れている。

形成されていると体感の歴史や生活状況などし、「オーストラリア国民の展示、移住者の母国」とは「と考える機会を提

供する博物館「イミグレーションミュージアム」れ、「多様な背景を持つ

がある。今年で開館22年目を迎え、累計来館者数は200万人を超えており、移住者コミュニティ

と共同して1200を超えてきた。市民や観光客だけでなく、社会教育施設として

### 豪州に学ぶ

## ダイバーシティ



自治体国際化協会・多文化共生部報告 6

支持され、州政府や自治体の施策が効果をj生んで

### 日本と豪州の比較

日本に暮らす外国人は増加傾向にあり、現在在

留外国人は293万人、外国人比率は2.1%で、このうち都内は59万人、比率は4%に迫る。

日本政府は移民政策をと改善の余地が多い。

例え、外国人の受け入れや生活支援を担う団体がその一つだ。豪・ピクトリア州には、移住を

サポートする団体「AM E S」があり、高度な技術者や難民にかかわらず、

移住前から移住後の地域生活に關する支援を一手に受けられる。

「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」を閣議決定し、外国実習生や留学生、高度人材など様々な在留資格が

あり、支援団体も自治体が設置する国際交流協会や技能実習生に特化して支援する民間の監理団体など様々だ。加えて、それ

れぞれの支援の範囲や内容にはばらつきがあるため、地域や団体、在留資格で差が生じている。

今後、東京都では多文化共生を進める新たな団体を立ち上げる予定で、多くの移住者への丁寧な

サポートが期待される。教育も課題だ。同州では、移住してきた子ども

の英語力を測り、英語での授業が難しい子ども向けに英語学習の学校を設

けている。一方、日本は、義務教育過程で日本語指導が必要な児童生徒は18年現在

5.1万人で、このうち日本語指導や教科の補習など特別な指導を受けて

いる。19年に国内で生まれた日本人の子どもの数は、1899年の統計開始以降、初めて90万人を割り、

人口減少による将来の労働力への影響が懸念されている。

多くの市民や観光客が訪れるイミグレーションミュージアム



いない子どもは1万人以上シユが国策として海外へして行くのか、その選択

に達する。自治体や学校、地域のNPOなども努力を重ねているが、更なる努力が望まれる。

活力ある未来へ 19年に国内で生まれた日本人の子どもの数は、1899年の統計開始以降、初めて90万人を割り、

人口減少による将来の労働力への影響が懸念されている。

こうした中、企業では、アジアはもちろん、世界の多様な人材の能力が最大

限発揮できる機会を提供することイノベーションを生み出し、価値創造

足が深刻な介護人材で、日本人とともに働き、ティール経営」が広がって

支給され、高賃金で定住へへの道も用意されるなかには当然、外国人も含まれている。

世界の情勢も、人の移住から母国に戻った技能実習生の中には、職場や生活

にインパクトを与えてける難民は最も分かりやどで広め、日本の評判を活躍できる社会は、我々